

高等学校 商業

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～大問 **4** については、マーク式解答用紙に、大問 **5** については、記述式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **1** ～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「3」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

1 次の(1)～(12)の問いに答えよ。

(1) 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説商業編 第1章 第3節 商業科の目標に関する記述として、(ア)～(オ)のうち、誤っている組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

(ア) 商業の見方・考え方とは、企業活動に関する事象を、企業の社会的責任に着目して捉え、ビジネスの適切な展開と関連付けることを意味している。

(イ) ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力とは、単に利益だけを優先するのではなく、企業活動が社会に及ぼす影響などに責任をもちながら、様々な経営資源を最適に組み合わせるとともに、他者とコミュニケーションを図るなどして、生産者、消費者などをつなぎ、地域産業をはじめ経済社会が健全で持続的に発展するよう、組織の一員としての役割を果たす資質・能力を意味している。

(ウ) 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにするには、ビジネスに関する新聞記事やニュースなどについて知識と技術を総合的に活用して生徒自らが解説する学習活動、ビジネスに関する知識をビジネスの具体的な事例と関連付けて考察する学習活動などが大切である。

(エ) 職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養うには、実際のビジネスを俯瞰する中で、ビジネスに関する知識と技術のみを活用し、ビジネスに関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動が大切である。

(オ) ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うためには、地域を学びのフィールドとして、様々な職業や年代の地域住民などをつながりを持ちながら信頼関係を構築し、協働して課題の解決などに取り組む学習活動、職業資格の取得やコンクールへの挑戦などを通して自ら学ぶ意欲を高める学習活動などが大切である。なお、職業資格の取得やコンクールへの挑戦については、目的化するよう留意して取り扱うことが重要である。

- 1 (ア) と (ウ)
- 2 (ア) と (エ)
- 3 (イ) と (ウ)
- 4 (イ) と (オ)
- 5 (エ) と (オ)

(2) 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説商業編 第1章 第4節 商業科の内容構成の記述として、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

(ア) 商業科に関する科目は、20科目で構成されている。

(イ) 原則履修科目は「ビジネス基礎」「簿記」「情報処理」の3科目である。

(ウ) 分野構成は「マーケティング分野」「マネジメント分野」「会計分野」「ビジネス情報分野」「総合分野」の5つである。

(エ) 「ビジネス・コミュニケーション」は分野共通の科目であり、基礎的科目である。

(オ) 会計分野の科目は「簿記」「財務会計Ⅰ」「財務会計Ⅱ」「原価計算」の4つである。

- 1 (ア) と (イ)
- 2 (ア) と (エ)
- 3 (イ) と (オ)
- 4 (ウ) と (エ)
- 5 (ウ) と (オ)

(3) 次の(ア)～(エ)の文章のうち、正誤の組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

(ア) 消費者が店舗では実物を確認するだけで買わず、インターネットで商品を注文することをウェブルーミングという。

(イ) インターネットと実店舗を結びつける取り組みをO2Oという。

(ウ) 小売業がすべての販売経路を統合して、消費者がいつでもどこでも商品を買えるようにするしくみをオムニチャネルという。

(エ) 消費者がインターネットで商品を検索して実店舗で購入することをショールーミングという。

- | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|
| 1 | (ア) 正 | (イ) 正 | (ウ) 誤 | (エ) 誤 |
| 2 | (ア) 誤 | (イ) 誤 | (ウ) 正 | (エ) 正 |
| 3 | (ア) 正 | (イ) 誤 | (ウ) 誤 | (エ) 正 |
| 4 | (ア) 誤 | (イ) 正 | (ウ) 正 | (エ) 誤 |
| 5 | (ア) 正 | (イ) 誤 | (ウ) 正 | (エ) 誤 |

(4) 次の文章のうち、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

1 物流を含めて原材料や部品の調達から開発、製造、配送、消費者への販売までの業務を一貫した流れとして全体を管理する考え方をDMOという。

2 生活必需品から専門品まで1店舗または1か所に立ち寄るだけで必要な買い物ができることをワンストップショッピングという。

3 社会的に弱いとされる立場の人が、ほかの人たちと同じように生活できるようにすることをノーマライゼーションという。

4 企業規模の拡大や競争力強化などのために、ほかの企業と合併したり、ほかの企業を買収したりすることをM&Aという。

5 性別や国籍、雇用形態などの異なるさまざまな人々がいる多様な状況のことをダイバーシティという。

(5) 次の文章の(ア)～(エ)に入る最も適切な語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

5

企業活動は社会に大きな影響力を持っているため、利益だけを追い求めてはなりません。さまざまな(ア)のことを考えて活動する必要があります。

近年、長時間労働などの労働に関する問題が起きていますが、企業は、労働基準法といった法律のほか、社会的な倫理や商慣習も守らなければなりません。これを(イ)といい、企業が果たすべき重要な責任です。こうしたことに加え、安全や安心を推進したり、環境問題に取り組んだりするなど、(ウ)を果たす必要があります。

不祥事が起こらないようにするために、経営層に対するチェック機能も重要です。経営層が間違っただけの決断をしないようにするためには、(エ)を整える必要があります。近年では、取引や資本関係が無い外部から登用する社外取締役の割合を増やすことで、利害関係の無い客観的な視点によって、取締役会のチェック機能を強化することが求められています。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 (ア) コンプライアンス | (イ) ステークホルダー |
| (ウ) コーポレート・ガバナンス | (エ) CSR |
| 2 (ア) ステークホルダー | (イ) コンプライアンス |
| (ウ) CSR | (エ) コーポレート・ガバナンス |
| 3 (ア) ステークホルダー | (イ) CSR |
| (ウ) コンプライアンス | (エ) コーポレート・ガバナンス |
| 4 (ア) コーポレート・ガバナンス | (イ) CSR |
| (ウ) ステークホルダー | (エ) コンプライアンス |
| 5 (ア) コーポレート・ガバナンス | (イ) コンプライアンス |
| (ウ) CSR | (エ) ステークホルダー |

(6) 次の(ア)～(オ)の文章のうち、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

6

(ア) さまざまな事象から共通することがらを発見し、結論を導き出す考え方を演繹法という。

(イ) PPM分析とは、意思決定をおこなう際に、企業や個人の内部環境を「強み」と「弱み」、外部環境を「機会」と「脅威」に分けて問題点の整理や状況分析をおこなう手法である。

(ウ) 直面した大きく複雑な問題を、小さく単純な問題に分割して解決するために、問題の全体構造を捉えたうえで、一定の切り口にそって小さな要素に分割していく手法をロジックツリーという。

(エ) SWOT分析は、経営資源をいかにバランスよく配分するのかを決定するのに有効である。縦軸に市場成長率、横軸に市場占有率をとって、花形、金のなる木、問題児、負け犬の4つの象限に区分したポジショニングマップを作成し分析する。

(オ) 意思決定をおこなう際には、その基盤となる情報の信頼性と妥当性の両方を検討する必要がある。情報が有用かどうか見極めるために、自分自身の考えが合理的かどうか、理論的かどうかを批判的にとらえる必要があるとする考え方をクリティカル・シンキングという。

- 1 (ア) と (ウ)
- 2 (ア) と (オ)
- 3 (イ) と (エ)
- 4 (ウ) と (オ)
- 5 (エ) と (オ)

(7) 次の(ア)～(オ)の文章のうち、正誤の組合せとして正しいものはどれか。1～5から一つ
選べ。解答番号は

(ア) マーケティング環境を分析する手法には、内部環境を分析するV R I O分析がある。

(イ) マーケティング環境を分析する手法には、外部環境でのマクロ環境を分析するファイブ・
フォース分析がある。

(ウ) マーケティング環境を分析する手法には、外部環境でのミクロ環境を分析するP E S T分析
がある。

(エ) 製品やサービスを購入してくれそうな消費者などのターゲットを決めるS T Pとは、セグメ
ンテーション、ターゲティング、プロモーションという一連の作業のことである。

(オ) マーケティング・ミックスとは製品政策、価格政策、チャネル政策、プロモーション政策の
組合せのことをいい、4 P政策ともいわれる。

1	(ア) 正	(イ) 誤	(ウ) 誤	(エ) 誤	(オ) 正
2	(ア) 誤	(イ) 正	(ウ) 正	(エ) 正	(オ) 誤
3	(ア) 正	(イ) 誤	(ウ) 誤	(エ) 正	(オ) 正
4	(ア) 誤	(イ) 正	(ウ) 誤	(エ) 正	(オ) 誤
5	(ア) 正	(イ) 誤	(ウ) 正	(エ) 誤	(オ) 正

(8) 次の文章のうち、正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 企業が自社開発した製品に着目しすぎて消費者をおろそかにすることをマーケティング・コミュニケーションという。
- 2 企業は製品を通して、自社が持つ技能や知識を提供しており、製品の価値は、顧客が使って初めて実現されるものであると考えることをサービス・ドミナント・ロジックという。
- 3 取引先同士がオンラインで受発注を行うシステムであるEOSの機能に加えて、在庫状況や代金請求などといった、取引に関係する多様なデータを交換するシステムをEQという。
- 4 商圈を検討する際に、距離と売場面積で消費者の店舗選択が決まると仮定するモデルをプラットフォーム・モデルという。
- 5 観光地に著しく多くの観光客が押し寄せた結果、住民の生活環境や自然環境、滞在している観光客自身の満足度などに対して負の影響が生じる現象をオーセンティシティという。

(9) 次の文章のうち、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 消費税は、製品やサービスの消費に対して課せられる間接税である。
- 2 法人税は直接税である。
- 3 固定資産税は国税である。
- 4 印紙税は国税である。
- 5 事業税は地方税である。

(10) 次の①～④の式の(ア)～(エ)に入る最も適切な語句の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

① (ア) = 売上高 - 売上原価

② (イ) = (ア) - 販売費および一般管理費

③ (ウ) = (イ) + 営業外収益 - 営業外費用

④ (エ) = (ウ) + 特別利益 - 特別損失 - 税金

- | | | | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 1 (ア) 営業利益 | (イ) 経常利益 | (ウ) 当期純利益 | (エ) 売上総利益 |
| 2 (ア) 売上総利益 | (イ) 当期純利益 | (ウ) 営業利益 | (エ) 経常利益 |
| 3 (ア) 売上総利益 | (イ) 経常利益 | (ウ) 営業利益 | (エ) 当期純利益 |
| 4 (ア) 営業利益 | (イ) 売上総利益 | (ウ) 経常利益 | (エ) 当期純利益 |
| 5 (ア) 売上総利益 | (イ) 営業利益 | (ウ) 経常利益 | (エ) 当期純利益 |

(11) 次の文章のうち、誤っているものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 情報セキュリティの三原則とは機密性、完全性、可用性の三つである。
- 2 ファイアウォールは、ネットワークから送られてくるデータを通過させるか拒否するかを判断して不正なアクセスなどを防止するしくみであり、防御の方法にはパケットフィルタリング型、サーキットレベルゲートウェイ型、アプリケーションゲートウェイ型などがある。
- 3 ウェブサーバとは、端末にデータやアプリケーションソフトをおかず、それらの資源をサーバ側で一括して管理するシステムの総称であり、ネットブート型や画面転送型などの方式がある。
- 4 S I E Mとは、サーバやネットワーク機器などのログを一元的に蓄積・管理することで、保安上の脅威となる事象をいち早く検知・分析し、情報漏洩などの異常を自動検出して管理者にスピーディに通知するしくみである。
- 5 ランサムウェアとは、重要なファイルなどの情報資産を勝手に暗号化し、情報資産の持ち主がアクセスできないような状況にするとともに、復号する鍵とひきかえに金銭の要求を行うマルウェアのことである。

(12) 次の図の (ア) ~ (カ) に入る最も適切な語句の組合せはどれか。1 ~ 5 から一つ選べ。

解答番号は

12

OSI 参照モデル

階層	階層名	主なネットワーク機器	主なプロトコル
第7層	アプリケーション層	(ア)	(エ)
第6層	プレゼンテーション層		
第5層	セッション層		(オ)
第4層	トランスポート層		
第3層	ネットワーク層	(イ)	(カ)
第2層	データリンク層	(ウ)	
第1層	物理層	LANケーブルなどの通信媒体、NIC、リピータ	

- | | |
|--|--|
| 1 (ア) ゲートウェイ
(ウ) ルータ
(オ) IP | (イ) ブリッジ
(エ) TCP
(カ) HTTP、SMTP、POP |
| 2 (ア) ルータ
(ウ) ブリッジ
(オ) IP | (イ) ゲートウェイ
(エ) HTTP、SMTP、POP
(カ) TCP |
| 3 (ア) ブリッジ
(ウ) ゲートウェイ
(オ) IP | (イ) ルータ
(エ) TCP
(カ) HTTP、SMTP、POP |
| 4 (ア) ゲートウェイ
(ウ) ブリッジ
(オ) TCP | (イ) ルータ
(エ) HTTP、SMTP、POP
(カ) IP |
| 5 (ア) ルータ
(ウ) ゲートウェイ
(オ) TCP | (イ) ブリッジ
(エ) IP
(カ) HTTP、SMTP、POP |

2 次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) 等級別総合原価計算を採用しているA工業株式会社において、1級製品4,500個と2級製品6,000個が完成した。ただし、総合原価は¥2,992,500であり、等価係数は次の各製品1個あたりの重量を基準としている。それぞれの製造原価の金額として、正しい組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

等価係数	1級製品 400g	2級製品 100g
1	1級製品 ¥ 561,094	2級製品 ¥ 748,125
2	1級製品 ¥ 1,282,500	2級製品 ¥ 1,710,000
3	1級製品 ¥ 1,496,250	2級製品 ¥ 1,496,250
4	1級製品 ¥ 2,244,375	2級製品 ¥ 748,125
5	1級製品 ¥ 2,394,000	2級製品 ¥ 598,500

(2) 個別原価計算を採用しているF製作所は、製造間接費について公式法変動予算により予算を設定し、予定配賦をおこなっている。次の資料から当月の実際操業度における予算差異の金額として正しいものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

資 料

a. 月間の基準操業度（直接作業時間）	1,600 時間
b. 月間の製造間接費予算額	¥5,000,000
変動费率	¥1,500
固定費予算額	¥2,600,000
c. 当月の実際直接作業時間	1,580 時間
d. 当月の実際製造間接費発生額	¥5,112,000

- 1 ¥ 30,000（不利差異）
- 2 ¥ 32,500（不利差異）
- 3 ¥ 112,000（不利差異）
- 4 ¥ 142,000（不利差異）
- 5 ¥ 174,500（不利差異）

(3) 次の4つの会社の資料から、①短期の支払い能力が最も高い会社名、②自己資本比率による安全性が最も高い会社名、③負債比率による安全性が最も高い会社名として、正しい組合せはどれか。

1～5から一つ選べ。解答番号は

<資 料>

	H 社	I 社	J 社	K 社
流 動 資 産	¥36,000,000	¥48,800,000	¥55,400,000	¥33,500,000
流 動 負 債	¥40,000,000	¥25,000,000	¥22,000,000	¥19,500,000
固 定 負 債	¥11,280,000	¥4,800,000	¥36,225,000	¥12,500,000
総 資 本	¥200,000,000	¥96,500,000	¥112,000,000	¥99,500,000

- | | | | |
|---|-------|-------|-------|
| 1 | ① I 社 | ② K 社 | ③ J 社 |
| 2 | ① I 社 | ② I 社 | ③ K 社 |
| 3 | ① J 社 | ② J 社 | ③ I 社 |
| 4 | ① J 社 | ② I 社 | ③ K 社 |
| 5 | ① J 社 | ② H 社 | ③ H 社 |

3 次の各問いに答えよ。

問1 次の表は、あるカレーショップチェーンの販売シミュレーションである。次の条件から、上半期の売上実績と同じ金額を達成するために必要な販売数量を求めたい。

【条件】

- ・「販売金額」は、次の式で求める。
「 単価 × 販売数量 」
- ・「合計」は各列の合計を求める。
- ・物価高騰に対応するため、下半期の「単価」は、上半期の「単価」の1.1倍とし、10円未満は切り上げる。
- ・下半期の目標とする金額の「合計」は、上半期の金額の「合計」と同額とする。
- ・「野菜カレー」と「とんかつカレー」の販売数量は、上半期の80%と見込み、「ビーフカレー」の販売数量をデータ分析機能で求める。

	A	B	C	D
1				
2	上半期売上実績			
3	メニュー	単価	販売数量	販売金額
4	ビーフカレー	880	5,250	4,620,000
5	野菜カレー	820	4,000	3,280,000
6	とんかつカレー	1,250	4,900	6,125,000
7	合計		14,150	14,025,000
8				
9	下半期販売シミュレーション			
10	メニュー	単価	販売数量	販売金額
11	ビーフカレー	970	0	0
12	野菜カレー	910	3,200	2,912,000
13	とんかつカレー	1,380	3,920	5,409,600
14	合計		7,120	8,321,600



実行後の例

9	下半期販売シミュレーション			
10	メニュー	単価	販売数量	販売金額
11	ビーフカレー	970	5,880	5,703,400
12	野菜カレー	910	3,200	2,912,000
13	とんかつカレー	1,380	3,920	5,409,600
14	合計		13,000	14,025,000

パラメータ設定

数式入力セル	(ア)
目標値	(イ)
変化させるセル	(ウ)

実行

閉じる

(1) B11に設定されている式として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は 16

- 1 =ROUNDUP(B4*1.1,0)
- 2 =ROUND(B4*1.1,1)
- 3 =ROUNDDOWN(B4*1.1,-1)
- 4 =CEILING(B4*1.1,10)
- 5 =FLOOR(B4*1.1,10)

(2) 表計算ソフトウェアのデータ分析機能を実行した場合、図のパラメータに設定する組合せとして最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は 17

- 1 (ア) \$D\$I4 (イ) I4025000 (ウ) \$B\$I1
 2 (ア) \$D\$I4 (イ) 832I600 (ウ) \$B\$I1
 3 (ア) \$D\$I4 (イ) I4025000 (ウ) \$C\$I1
 4 (ア) \$D\$I1 (イ) 832I600 (ウ) \$C\$I1
 5 (ア) \$C\$I1 (イ) I4025000 (ウ) \$D\$I4

問2 ある弁当店では、販売した商品を次のようなリレーショナル型データベースを用いて管理している。次の(1)～(4)の問いに答えよ。

shohin

scode	sname	price
b01	スタンダード弁当	550
b02	デラックス弁当	700
b03	ごちそう弁当	900
b04	カレーライス	600
b05	かつ丼	800
b06	ブレンドコーヒー	300
b07	ダージリンティ	300
b08	黒豆茶	350
b09	スタンダード弁当チケット	11000

chumon

ocode	method
o01	店頭
o02	ミニアプリ
o03	ファクシミリ
o04	電話

kokyaku

kcode	kname	address
256330	大阪 ○○	安土町x-x-xx
351005	天満 ○○	北浜x-x-xx
209025	桜宮 ○○	谷町x-x-xx
398061	京橋 ○○	法円坂x-x-xx
353005	桃谷 ○○	上汐x-x-xx
265776	寺田 ○○	高津x-x-xx
204034	今宮 ○○	日本橋x-x-xx
361411	芦原 ○○	松屋町x-x-xx
399021	野田 ○○	備後町x-x-xx
394973	福島 ○○	本町橋x-x-xx

hanbai

number	kcode	ocode	scode	quantity
1	351005	o03	b04	5
2	361411	o03	b01	4
3	209025	o04	b08	11
4	353005	o01	b03	2
5	394973	o03	b06	8
6	353005	o02	b03	1
7	209025	o02	b01	6
8	256330	o01	b09	9
9	265776	o02	b04	1
10	398061	o02	b04	6
11	353005	o03	b08	12
12	353005	o01	b06	2
13	265776	o02	b07	11
14	265776	o02	b03	13
15	398061	o01	b05	12
16	353005	o02	b09	14
17	361411	o04	b01	6
18	209025	o01	b04	15
19	209025	o02	b08	2
20	361411	o02	b09	10
21	394973	o01	b08	13
22	394973	o01	b03	3
23	204034	o02	b07	2
24	353005	o04	b05	9
25	394973	o02	b01	3

(1) 次のSQL文によって抽出されるデータとして最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

SELECT sname FROM shohin WHERE price > 900

1

sname
スタンダード弁当チケット

2

sname
スタンダード弁当
デラックス弁当
カレーライス
かつ丼
ブレンドコーヒー
ダージリンティ
黒豆茶

3

sname
ごちそう弁当

4

sname
ごちそう弁当
スタンダード弁当チケット

5

sname
スタンダード弁当
デラックス弁当
カレーライス
かつ丼
ブレンドコーヒー
ダージリンティ
黒豆茶
スタンダード弁当チケット

(2) 次は、あるSQL文によって抽出されたデータである。実行したSQL文はどのようなものであったかを説明する文章として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

kname
芦原 ○○
寺田 ○○
桃谷 ○○

- 1 店頭で、いずれかの商品を数量10より多く購入した顧客名を重複なく抽出した。
- 2 ミニアプリを利用して、いずれかの商品を数量10以上購入した顧客名を抽出した。
- 3 スタンダード弁当チケットを10以上購入した顧客名を重複なく抽出した。
- 4 店頭で、黒豆茶を10以上購入した顧客名を重複なく抽出した。
- 5 ミニアプリを利用して、いずれかの商品を数量10以上購入した顧客名を重複なく抽出した。

(3) 次のSQL文を実行したとき、表示される最も適切な値はどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

```
SELECT SUM(quantity * price) AS かつ丼の売上高
FROM hanbai, shohin
WHERE hanbai.scode = shohin.scode
AND hanbai.scode = 'b05'
```

- 1 3000 2 10450 3 16800
4 17100 5 363000

(4) 次は、SQL文によって抽出されたデータである。SQL文の(ア)～(ウ)にあてはまる記述のうち、最も適切な組合せはどれか。1～5から一つ選べ。解答番号は

kname	代金
桃谷 ○○	168700
芦原 ○○	115500
大阪 ○○	99000
桜宮 ○○	16850
寺田 ○○	15600
京橋 ○○	13200
福島 ○○	11300
天満 ○○	3000
今宮 ○○	600

```
SELECT kname, SUM(price * quantity) AS 代金
FROM hanbai, shohin, kokyaku
WHERE hanbai.scode = shohin.scode
AND hanbai.kcode = kokyaku.kcode
```

kname
 DESC

- 1 (ア) GROUP BY (イ) ORDER BY (ウ) SUM(price * quantity)
2 (ア) GROUP BY (イ) ORDER BY (ウ) 代金
3 (ア) ORDER BY (イ) GROUP BY (ウ) 代金
4 (ア) ORDER BY (イ) GROUP BY (ウ) SUM(price * quantity)
5 (ア) GROUP BY (イ) ORDER BY (ウ) SUM(price * quantity) AS 代金

4 次の各問いに答えよ。

問1 次の表はある鉄道会社の駅別乗降客数のデータをもとに、作成条件にしたがって作成したものである。

	A	B	C	D	E
1					
2	駅別乗降客数				
3	単位：人				
4	駅名	乗車人数	降車人数	計	備考
5	北町	209,960	210,758	420,718	○
6	イーストスクエア	15,580	13,218	28,798	
7	公園中央	170,173	176,245	346,418	○
8	南緑地	123,886	121,338	245,224	○
9	西洲	16,572	14,612	31,184	
10	合計	536,171	536,171	1,072,342	
11	平均	107,234.2	107,234.2	214,468.4	
12	最大	209,960	210,758	合計を求める	
13	最小	15,580	13,218		

作成条件

- ① D列の「計」は「乗車人数」と「降車人数」の合計である。
- ② 10行目の「合計」は、各列の合計を求める。
- ③ 11行目の「平均」は、各列の平均を求める。ただし、小数第1位まで表示する。
- ④ 12行目の「最大」は、各列の最大値を求める。
- ⑤ 13行目の「最小」は、各列の最小値を求める。
- ⑥ E列の「備考」は、各駅の「計」が「計」の「合計」に占める割合が20%以上の場合は ○ を表示し、それ以外の場合は、何も表示しない。
- ⑦ 毎年度集計を行うため、「乗車人数」と「降車人数」以外のデータは、自動再計算によって更新されるものとする。

(1) E5に設定する式として最も適切なものはどれか。1～5から一つ選べ。ただし、この式をE9までコピーする。解答番号は

- 1 =IF(D5/D10>0.2,"○","")
- 2 =IF(D5/\$D\$10>=0.2," ","○")
- 3 =IF(D5/1072342>=0.2,"○","")
- 4 =IF(D10/\$D\$5>=0.2,"○","")
- 5 =IF(D5/\$D\$10>=0.2,"○","")

(2) B10～D10には合計を求めるための式が設定されている。これを 合計を求める ボタンをクリックした際に集計を行う方法に修正したい。表計算ソフトウェアのマクロ機能を利用して作成した場合、プログラムの(ア)～(オ)にあてはまる最も適切な記述の組合せはどれか。
1～5から一つ選べ。解答番号は 23

```

Sub 合計を求める()
    Dim kei As Long
    Dim c, r, x, y, cnt As Integer
    Range("B10:D10").Value = ""
    (ア)
    For c = 1 To 3 Step 1
        kei = 0
        cnt = 0
        (イ)
        Do (ウ) cnt < 5
            (エ)
            kei = kei + Cells((オ)).Value
            y = y + 1
        Loop
        Cells((オ)).Value = kei
        x = x + 1
    Next c
End Sub

```

- | | | |
|---|---|---|
| 1 (ア) x = 2
(イ) y = 5
(ウ) Until
(エ) cnt = cnt + 1
(オ) y, x | 2 (ア) x = 2
(イ) y = 5
(ウ) While
(エ) cnt = cnt + 1
(オ) y, x | 3 (ア) x = 2
(イ) y = 5
(ウ) While
(エ) cnt = cnt + 1
(オ) x, y |
| 4 (ア) x = 5
(イ) y = 2
(ウ) Until
(エ) kei = kei + 1
(オ) y, x | 5 (ア) c = 2
(イ) r = 5
(ウ) While
(エ) cnt = cnt + 1
(オ) r, c | |

問2 売上データを読み込み、配列から該当する商品の単価を見つけ出し、売上一覧表を表示する。
次の各問いに答えよ。

●売上データ

商品コード	数量
(scode)	(suryo)
××××	×××

●売上一覧表

<売上一覧表>			
(商品コード)	(数量)	(単価)	(売上金額)
1426	50	200	10,000
1105	42	520	21,840
:	:	:	:
(合計)			12,345,000

処理条件

- ① 取り扱う商品は20種類で、次の配列にデータが保存されており、商品コードを基準にして、昇順に整列されている。

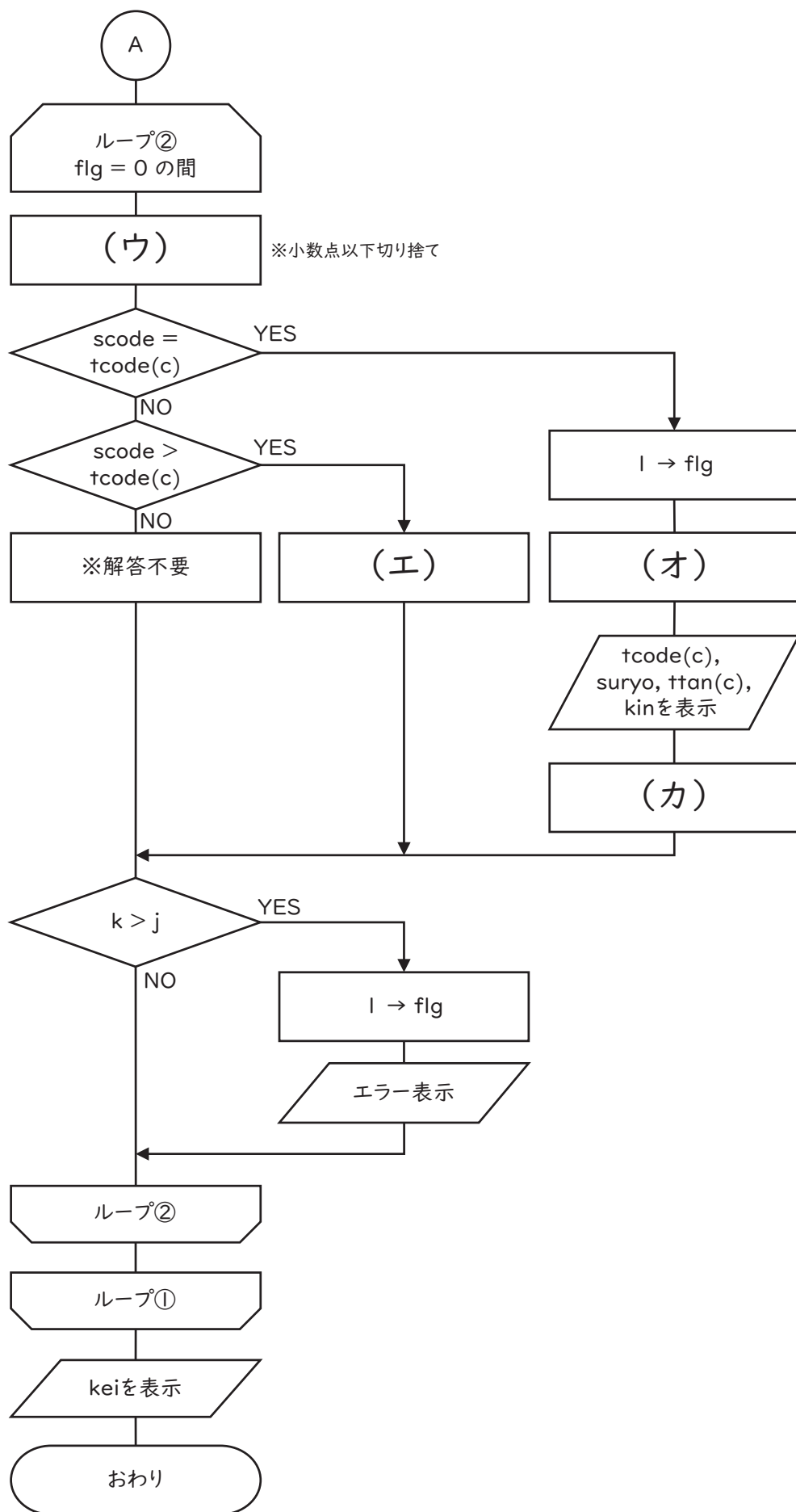
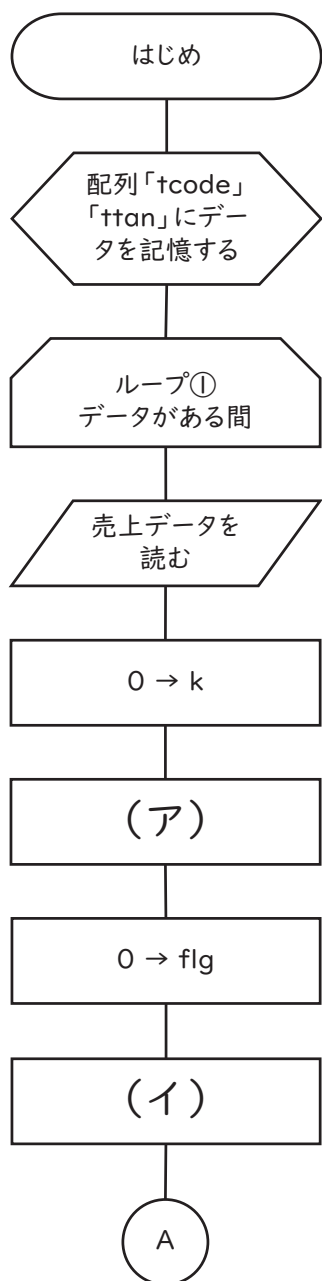
配列「tcode」…商品コードが保存されている

tcode	1001	1101	1105	...	1426	1530	1640
	(0)	(1)	(2)	...	(17)	(18)	(19)

配列「ttan」…単価が保存されている

ttan	300	420	520	...	200	1380	2000
	(0)	(1)	(2)	...	(17)	(18)	(19)

- ② 該当する商品コードが見つかった場合は、数量と単価から売上金額を計算し、売上一覧表に表示する。
- ③ 該当する商品コードが見つからなかったときは、エラーを表示する。
- ④ 最後に売上金額の合計を表示する。



(1) 流れ図の(ア)・(イ)にあてはまる最も適切な記述の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1 (ア) $19 \rightarrow \text{kei}$ | (イ) $0 \rightarrow j$ |
| 2 (ア) $21 \rightarrow j$ | (イ) $0 \rightarrow \text{gokei}$ |
| 3 (ア) $20 \rightarrow j$ | (イ) $0 \rightarrow \text{kei}$ |
| 4 (ア) $19 \rightarrow j$ | (イ) $0 \rightarrow \text{kei}$ |
| 5 (ア) $19 \rightarrow j$ | (イ) $0 \rightarrow \text{gokei}$ |

(2) 流れ図の(ウ)・(エ)にあてはまる最も適切な記述の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- | | |
|--|---------------------------|
| 1 (ウ) $(\text{flg} + \text{kei}) \div 2 \rightarrow c$ | (エ) $c - 1 \rightarrow c$ |
| 2 (ウ) $(j + k) \div 2 \rightarrow c$ | (エ) $c + 1 \rightarrow k$ |
| 3 (ウ) $19 \div 2 \rightarrow c$ | (エ) $c - 1 \rightarrow j$ |
| 4 (ウ) $j + k \div 2 \rightarrow c$ | (エ) $c + 1 \rightarrow k$ |
| 5 (ウ) $j + k \rightarrow c$ | (エ) $c + 1 \rightarrow j$ |

(3) 流れ図の(オ)・(カ)にあてはまる最も適切な記述の組合せはどれか。1～5から一つ選べ。

解答番号は

- | | |
|--|---|
| 1 (オ) $\text{suryo} \times \text{ttan} \rightarrow \text{kin}$ | (カ) $\text{kei} + \text{kin} \rightarrow \text{kei}$ |
| 2 (オ) $\text{suryo} \times \text{ttan}(c) \rightarrow \text{kin}$ | (カ) $\text{kei} + \text{kin} \rightarrow \text{kei}$ |
| 3 (オ) $\text{kei} + \text{kin} \rightarrow \text{kei}$ | (カ) $\text{suryo} \times \text{ttan}(c) \rightarrow \text{kin}$ |
| 4 (オ) $\text{kei} + \text{kin} \rightarrow \text{kei}$ | (カ) $\text{suryo} \times \text{ttan} \rightarrow \text{kin}$ |
| 5 (オ) $\text{suryo}(c) \times \text{ttan}(c) \rightarrow \text{kin}$ | (カ) $\text{kei} + \text{kin} \rightarrow \text{kei}$ |

(4) このプログラムのようなアルゴリズムの考え方を何というか。最も適切な記述を1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | |
|------------|-------------|
| 1 グループトータル | 2 ページコントロール |
| 3 線形探索 | 4 二分探索 |
| 5 選択法 | |

5 次の（１）及び（２）の問いに答えよ。

（１）次の（ア）～（オ）の取引の仕訳を示せ。ただし、勘定科目は、次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

勘定科目

現 金	当 座 預 金	受 取 手 形	売買目的有価証券
繰延税金資産	備 品	建 物	建 設 仮 勘 定
備品減価償却累計額	鉱 業 権	満期保有目的債券	その他有価証券
買 掛 金	前 受 金	不 渡 手 形	繰延税金負債
保 証 債 務	社 債	資 本 金	資 本 準 備 金
新 築 積 立 金	その他有価証券評価差額金	繰越利益剰余金	売 上
有価証券利息	受 取 利 息	有価証券評価益	有価証券売却益
社 債 償 還 益	保証債務取崩益	仕 入	鉱 業 権 償 却
手形売却損	修 繕 費	有価証券売却損	支 払 利 息
保証債務費用	創 立 費	開 業 費	株 式 発 行 費
社 債 償 還 損	固定資産売却損	固定資産除却損	法人税等調整額

（ア）かねて、商品代金の支払いとしてA商店に裏書譲渡していたB商店振り出しの約束手形が期日に不渡りとなり、償還請求を受けた。よって、手形金額¥800,000および期日以後の利息¥4,500とともに、小切手¥804,500を振り出して支払い、同時にB商店に支払請求をおこなった。なお、この手形を裏書きしたさいに、手形額面金額の2%の保証債務を計上している。

（イ）決算において、C商事株式会社が保有するその他有価証券の評価替えを行う。その他有価証券の取得原価は¥598,000、期末の時価は¥589,000であった。なお、全部純資産直入法により処理している。

（ウ）D商事株式会社は、建物の改良と修繕をおこない、その代金¥5,500,000について小切手を振り出して支払った。ただし、代金のうち¥3,500,000は建物の使用可能期間を延長させる資本的支出と認められ、残額は通常の維持・管理のための収益的支出とした。

（エ）E商事株式会社は、決算において売掛金¥500,000について、¥10,000の貸倒引当金を設定した。しかし、法人税法上の繰入限度額は¥5,000であるため、超過額¥5,000は損金不算入となった。なお、法人税率の税率は30%である。

(オ) F 鉱業株式会社は、¥21,000,000で鉱業権を取得した鉱区から、当期に12,000トンの採掘量があったので、生産高比例法を用いて鉱業権を償却した。ただし、この鉱区の推定埋蔵量は250,000トンであり、鉱業権の残存価額は零（0）である。

(2) 次の（ア）～（エ）の各問いに答えよ。

(ア) 次の資料から、売価還元法によって期末商品棚卸高（原価）を求めよ。

資 料	原 価	売 価
i 期首商品棚卸高	¥ 240,000	¥ 440,000
ii 当期純仕入高	¥1,500,000	¥1,880,000
iii 期末商品棚卸高	<input type="text"/>	¥260,000

(イ) 当期に、5年後完成の予定で工事契約を受注した。次の資料にもとづいて、当期の工事収益の金額を求めよ。

資 料
i 当該工事契約は、一定の期間にわたって充足される履行義務であり、履行義務の充足にかかる進捗度を合理的に見積もることができる。
ii 工事収益の総額は¥33,480,000 であり、工事原価総額は¥24,800,000 と見積もった。
iii 当期発生工事原価は¥ 5,100,000 であった。
iv 決算日における工事進捗度は原価比例法により算定している。

(ウ) 個別原価計算を採用しているG製作所の5月末における素材の实地棚卸数量は1,520kg、消費数量は2,600kgであった。なお、当社の消費単価の計算は総平均法によっておこなっている。次の素材に関する5月の資料にもとづいて、計上する棚卸減耗損（棚卸減耗費）の金額を求めよ。

資 料						
5 月	1 日	前月繰越	500kg	1kgにつき	¥1,580	¥790,000
	12 日	仕 入	1,100kg	1kgにつき	¥1,590	¥1,749,000
	22 日	仕 入	1,550kg	1kgにつき	¥1,620	¥2,511,000
	30 日	仕 入	1,000kg	1kgにつき	¥1,590	¥1,590,000

(エ) H社製作所は、製品を1個あたり¥800で販売している。この製品を7,500個製造・販売したときの次の損益計算書にもとづいて、①～③を求めよ。

H社製作所	<u>損益計算書</u>	(単位：円)
I 売上高		6,000,000
II 変動費		4,200,000
	貢献利益	1,800,000
III 固定費		1,200,000
	営業利益	600,000

- ① 販売数量が6,000個のときの貢献利益の金額
- ② 損益分岐点の販売個数
- ③ 目標営業利益が¥2,250,000のときの売上高

【計算用紙】

【計算用紙】

令和8年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

第二次選考択一問題の正答について

校種	高等学校	教科・科目	商業
----	------	-------	----

大問番号	1												2			3						4					
解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
正答番号	5	2	4	1	2	4	1	2	3	5	3	4	4	4	5	4	3	1	5	3	1	5	2	4	2	2	4

受験番号	
------	--

令和8年度大阪府公立学校教員採用選考テスト

高等学校 商業 解答用紙 (1枚のうち1)

5	得点	
---	----	--

(1)

	借 方		貸 方		
	勘定科目	金額	勘定科目	金額	
(ア)	不渡手形 保証債務	804,500 16,000	当座預金 保証債務取崩益	804,500 16,000	／ 10
(イ)	その他有価証券評価差額金	9,000	その他有価証券	9,000	／ 10
(ウ)	建物 修繕費	3,500,000 2,000,000	当座預金	5,500,000	／ 10
(エ)	繰延税金資産	1,500	法人税等調整額	1,500	／ 10
(オ)	鉱業権償却	1,008,000	鉱業権	1,008,000	／ 10

50

(2)

(ア)		¥195,000	／10
(イ)		¥6,885,000	／10
(ウ)		¥48,000	／10
(エ)	①	¥1,440,000	／10
	②	5,000 個	／10
	③	¥11,500,000	／10

60